

青森県経済統計報告

平成 29 年 6 月 5 日

企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（平成 29 年 5 月 1 日現在）…………… 1

県人口	1,282,136 人（対前月 409 人減少）
自然動態	803 人減少（出生者数 624 人、死亡者数 1,427 人）
社会動態	394 人増加（転入者数 3,420 人、転出者数 3,026 人）

2 本県の経済動向（平成 29 年 3 月・4 月の経済指標を中心として）

（1）経済概況

本県経済は、緩やかに持ち直している。

（2）主要経済指標の動向

- (2-1) 生産動向 …… 2
・平成 29 年 3 月の**青森県鉱工業生産指数**（平成 22 年=100）は、季節調整指数が 102.4 で、前月比 7.3%の低下となり、2 カ月連続で前月を下回った。また、原指数は 107.7 で、前年同月比 6.1%の低下となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。
- (2-2) 雇用労働 …… 3
・平成 29 年 3 月の**定期給与**は 221,430 円で前年同月比 1.9%増となった。**総実労働時間**は 157.0 時間で前年同月比 0.8%増、**所定外労働時間**は 12.0 時間で前年同月比 8.4%増となった。
・平成 29 年 4 月の**有効求人倍率**（季節調整値）は 1.17 倍で、前月を 0.01 ポイント下回った。
・**雇用保険受給者実人員**は 5,523 人で、前年同月比 7.3%減となった。
- (2-3) 物 価 …… 5
平成 29 年 4 月の**青森市消費者物価指数**（平成 27 年=100）は、総合指数が 100.4 となり、前月比 0.2%の上昇、前年同月比 0.8%の上昇となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 101.1 となり、前月比 0.2%の上昇、前年同月比 0.1%の上昇となった。
- (2-4) 個人消費 …… 6
・平成 29 年 4 月の**百貨店・スーパー販売額**は、全店舗ベースが 134 億円で前年同月比 1.9%増となり、2 カ月連続で前年同月を上回った。また、既存店ベースでは前年同月比 1.9%増となり、2 カ月連続で前年同月を上回った。
・平成 29 年 4 月の軽自動車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は 3,958 台で、前年同月比 8.8%増となり、7 カ月連続で前年同月を上回った。
・平成 29 年 4 月の**観光入込客数**は、主な観光施設が 901 千人で前年同月比 10.9%増となり、3 カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は 125 千人で前年同月比 6.1%増となり、2 カ月連続で前年同月を上回った。
- (2-5) 建 設 …… 7
・平成 29 年 4 月の**新設住宅着工戸数**は 636 戸で、前年同月比 2.5%減となり、2 カ月ぶりに前年同月を下回った。
・平成 29 年 4 月の**公共工事請負額**は 333 億 7,000 万円で前年同月比 9.9%減となり、4 カ月ぶりに前年同月を下回った。
- (2-6) 企業倒産 …… 8
平成 29 年 4 月の**企業倒産**は、件数は 5 件で前年同月比 66.7%増となった。負債総額は 12 億 900 万円で前年同月比 31.8%減となった。

（3）景気動向指数 C I（平成 29 年 3 月分）…………… 9

先行指数	145.2（前月を 7.0 ポイント上回り、2 カ月ぶりに上昇した）
一致指数	184.1（前月を 8.5 ポイント下回り、3 カ月連続で下降した）
遅行指数	120.2（前月を 7.1 ポイント下回り、3 カ月ぶりに下降した）

1 青森県の推計人口（平成29年5月1日現在）

【概況】

平成29年5月1日現在の本県推計人口は、1,282,136人で、前月に比べ409人の減少となった。

○自然動態

出生者数が624人、死亡者数が1,427人で、803人の減少となった。

○社会動態

転入者数が3,420人、転出者数が3,026人で、394人の増加となった。

総人口の推移

(単位：人)

	総計	性別		対前年 増減率	増減数	自然 増減数	自然動態		社会 増減数	県外からの 転入者数	県外への 転出者数
		男	女				出生者数	死亡者数			
昭 45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10.1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
27.10.1	1,308,265	614,694	693,571	-	-65,074	-	-	-	-	-	-
28. 5. 1	1,297,165	609,299	687,866	-0.016%	-213	-715	711	1,426	502	3,450	2,948
28. 6. 1	1,296,266	608,773	687,493	-0.069%	-899	-731	707	1,438	-168	1,254	1,422
28. 7. 1	1,295,463	608,413	687,050	-0.062%	-803	-641	689	1,330	-162	1,126	1,288
28. 8. 1	1,294,831	608,132	686,699	-0.049%	-632	-532	716	1,248	-100	1,637	1,737
28. 9. 1	1,294,209	607,941	686,268	-0.048%	-622	-641	803	1,444	19	1,752	1,733
28.10.1	1,293,681	607,729	685,952	-0.041%	-528	-594	742	1,336	66	1,478	1,412
28.11.1	1,293,130	607,473	685,657	-0.043%	-551	-677	758	1,435	126	1,353	1,227
28.12.1	1,292,212	607,074	685,138	-0.071%	-918	-802	711	1,513	-116	1,002	1,118
29. 1. 1	1,291,206	606,639	684,567	-0.078%	-1,006	-819	666	1,485	-187	920	1,107
29. 2. 1	1,290,008	606,029	683,979	-0.093%	-1,198	-1,115	704	1,819	-83	978	1,061
29. 3. 1	1,288,791	605,418	683,373	-0.094%	-1,217	-857	621	1,478	-360	999	1,359
29. 4. 1	1,282,545	602,241	680,304	-0.485%	-6,246	-900	665	1,565	-5,346	3,993	9,339
29. 5. 1	1,282,136	602,187	679,949	-0.032%	-409	-803	624	1,427	394	3,420	3,026

4月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月		19.4	20.4	21.4	22.4	23.4	24.4	25.4	26.4	27.4	28.4	29.4
自然 動態	出生者数	794	818	829	835	738	716	768	711	735	711	624
	死亡者数	1,268	1,349	1,266	1,337	1,338	1,377	1,458	1,425	1,328	1,426	1,427
	自然増減数	-474	-531	-437	-502	-600	-661	-690	-714	-593	-715	-803
社会 動態	県外からの 転入者数	4,208	4,218	4,232	4,025	3,911	3,907	4,085	3,608	3,458	3,450	3,420
	県外への 転出者数	4,454	4,354	4,297	3,830	4,230	3,705	3,323	3,364	2,931	2,948	3,026
	社会増減数	-246	-136	-65	195	-319	202	762	244	527	502	394
増減数計		-720	-667	-502	-307	-919	-459	72	-470	-66	-213	-409

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年は国勢調査人口（確定値）。

※2 平成27年11月1日以降の人口は、平成27年国勢調査人口（確定値 総務省統計局 平成28年10月26日）を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年が各々の前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

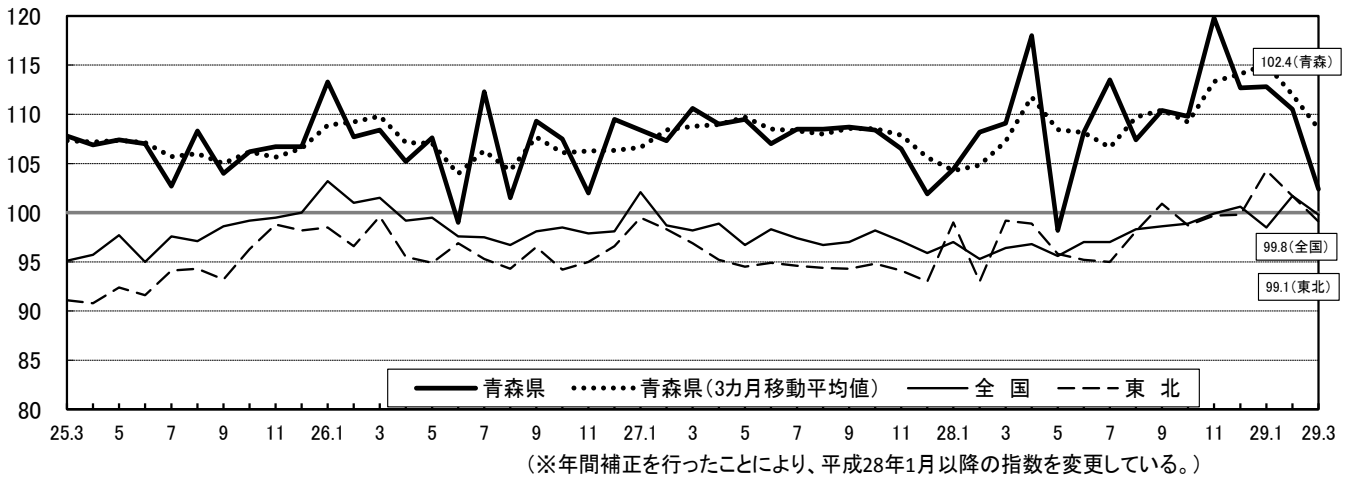
(2-1) 生産動向

平成29年3月の青森県鉱工業生産指数（平成22年=100）は、季節調整済指数が102.4で、前月比7.3%の低下となり、2カ月連続で前月を下回った。また、原指数は107.7で、前年同月比6.1%の低下となり、2カ月連続で前年同月を下回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、電子部品・デバイス工業、窯業・土石製品工業、化学工業などが上昇に寄与した一方、食料品工業、非鉄金属工業、鉄鋼業などが低下し、鉱工業全体では7.3%の低下となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移（季節調整済指数）

（平成22年=100）

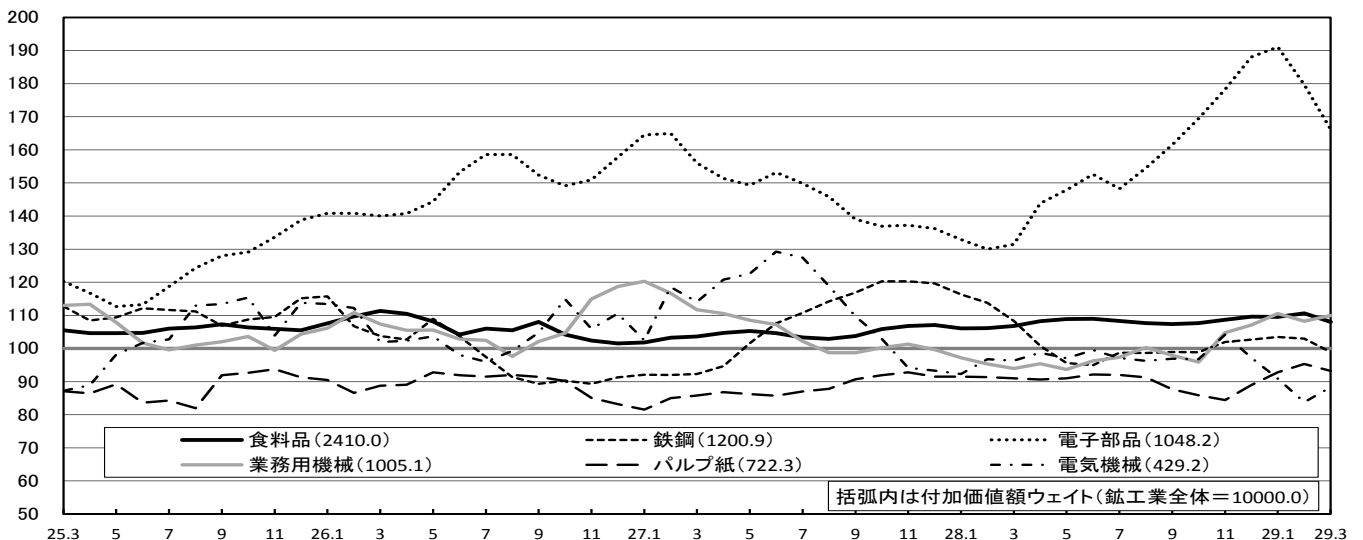


◎業種別動向（前月比） 鉱工業全体 -7.3%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
電子部品・デバイス工業	3.4	7.4	食料品工業	-9.1	-32.8
窯業・土石製品工業	14.7	6.9	非鉄金属工業	-49.9	-24.1
化学工業	33.2	6.1	鉄鋼業	-10.9	-17.9
電気機械工業	4.4	2.3	業務用機械工業	-9.0	-13.9
その他製品工業	29.4	1.6	輸送機械工業	-14.9	-11.5

主要業種の生産動向（季節調整済指数・3カ月移動平均値）

（平成22年=100）



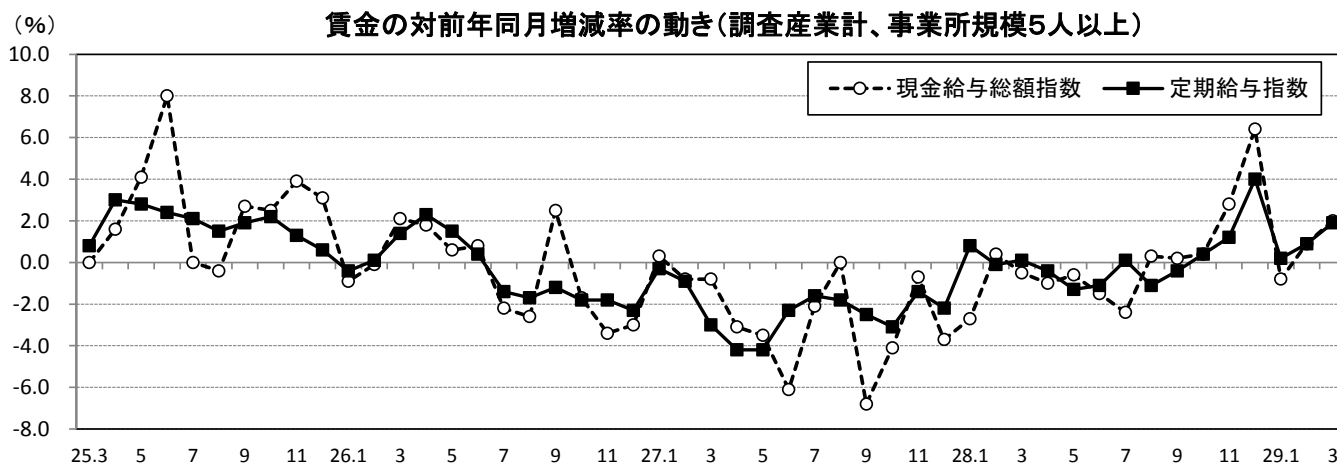
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数（速報）」

(2-2) 雇用労働

(2-2-1) 給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）

平成29年3月の定期給与は221,430円で、定期給与指数（平成27年=100）では102.5となり、前年同月比1.9%増と6カ月連続の増（現金給与総額230,618円、現金給与総額指数91.9、前年同月比2.0%増）となった。また、実額で比較した定期給与の全国対比は84.9となった。

総実労働時間は157.0時間で、総実労働時間指数は101.6となり、前年同月比0.8%増と4カ月連続の増となった。このうち、所定外労働時間は12.0時間で、所定外労働時間指数は104.3となり、前年同月比8.4%増と4カ月連続の増となった。



資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

賃金及び労働時間の全国との比較(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実 数		指数(H27=100)		対前年同月増減率	
	青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国
現金給与総額	230,618 円	278,677 円	91.9	88.9	2.0 %	0.0 %
定期給与	221,430 円	260,744 円	102.5	100.6	1.9 %	-0.1 %
特別給与	9,188 円	17,933 円	—	—	—	1.7 %
総実労働時間	157.0 時間	144.7 時間	101.6	100.1	0.8 %	-1.7 %
所定内労働時間	145.0 時間	133.3 時間	101.3	99.9	0.1 %	-1.9 %
所定外労働時間	12.0 時間	11.4 時間	104.3	103.6	8.4 %	1.5 %

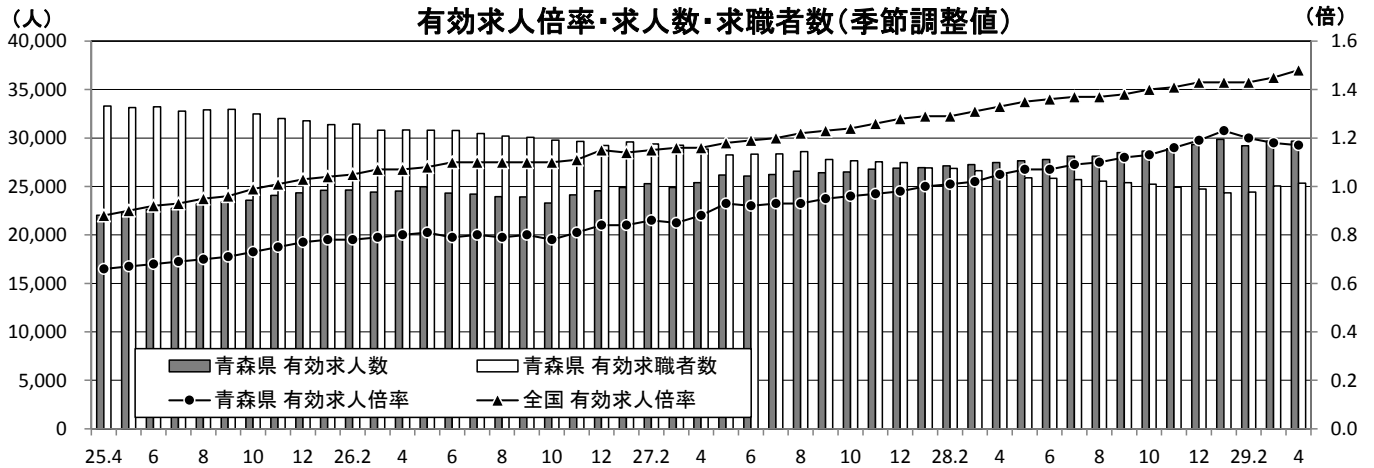
(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.平成29年1月分から、平成25年10月改訂の日本標準産業分類に基づいて結果を公表している。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

(2-2-2) 有効求人倍率

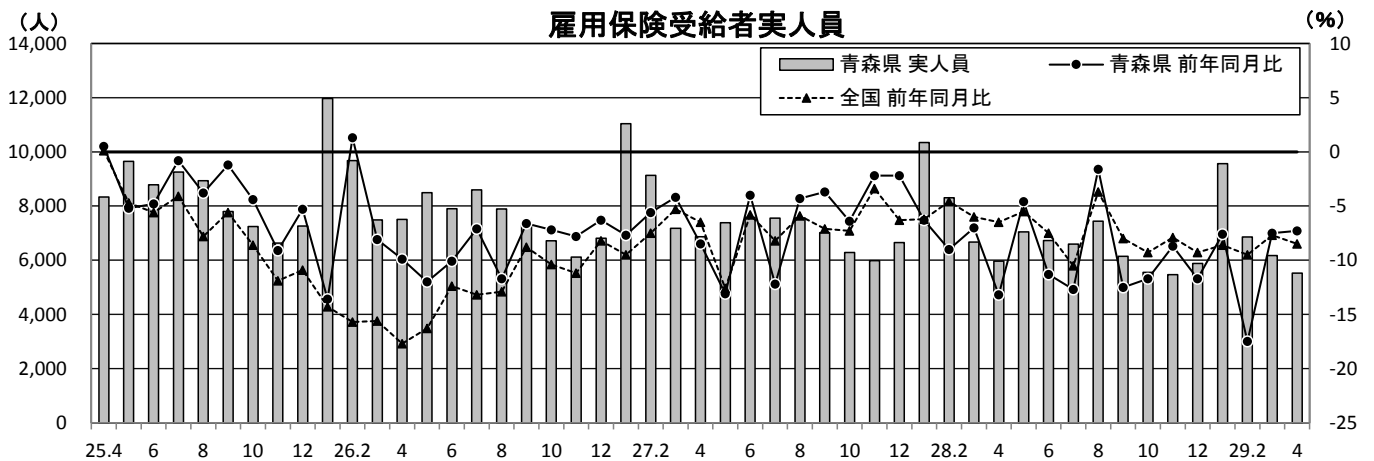
平成29年4月の有効求人倍率(季節調整値)は1.17倍で、前月を0.01ポイント下回り、3カ月連続で前月を下回った。



資料: 青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-2-3) 雇用保険受給者実人員

平成29年4月の雇用保険受給者実人員は5,523人で、前年同月比7.3%減となり、38カ月連続で前年同月を下回った。



資料: 青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」、厚生労働省「雇用保険事業月報」

(2-3) 物価

平成29年4月の青森市消費者物価指数（平成27年=100）は、総合指数が100.4となり、前月と比べ0.2%の上昇、前年同月と比べ0.8%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は100.5となり、前月と比べ0.3%の上昇、前年同月と比べ1.0%の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は101.1となり、前月と比べ0.2%の上昇、前年同月と比べ0.1%の上昇となった。

総合指数が前月と比べ0.2%の上昇となった内訳を寄与度でみると、被服及び履物（シャツ・セーター・下着類など）、交通・通信（通信など）などの上昇が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ0.8%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道（他の光熱など）、食料（生鮮魚介など）などの上昇が要因となっている。

図1 総合指数の動き

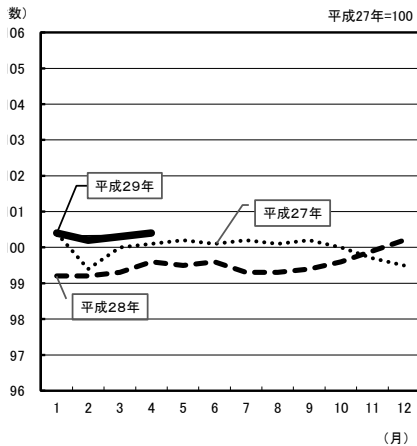


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

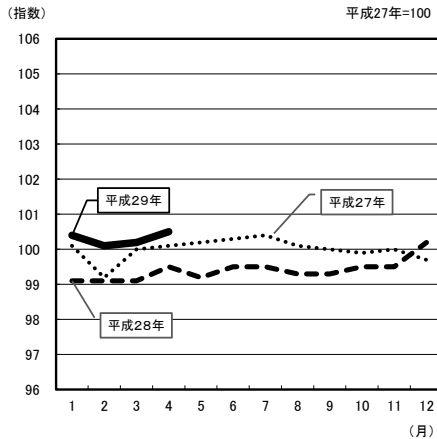
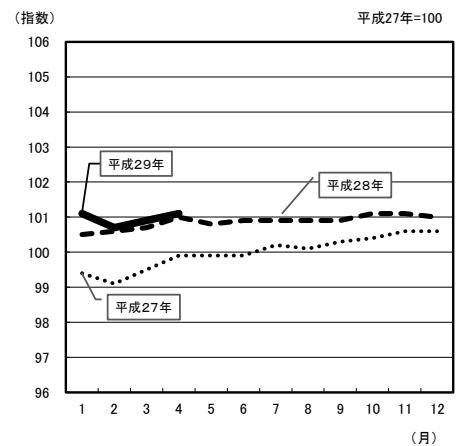


図3 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成27年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家事用品	家具・被服	被服履物	保健医療	交通・通信	教育	教娯	養楽	諸雑費
当月指数	100.4	100.5	101.1	100.3	102.8	99.0	100.0	96.2	101.1	102.1	100.1	97.7	102.2	101.9	101.4		
前月比 (%)	0.2	0.3	0.2	0.5	▲ 0.5	▲ 1.4	▲ 0.1	0.4	1.4	3.4	▲ 0.1	0.6	0.2	0.4	0.5		
寄与度	—	0.25	0.21	0.31	▲ 0.14	▲ 0.07	▲ 0.02	0.05	0.06	0.10	0.00	0.07	0.00	0.03	0.03		
前年同月比 (%)	0.8	1.0	0.1	▲ 0.5	1.2	▲ 2.1	▲ 0.6	5.2	0.3	▲ 1.6	▲ 0.6	0.6	0.2	1.1	0.1		
寄与度	—	0.95	0.07	▲ 0.30	0.33	▲ 0.10	▲ 0.13	0.53	0.01	▲ 0.05	▲ 0.02	0.08	0.01	0.09	0.00		

資料: 県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ **寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比 (%) の値に一致する。

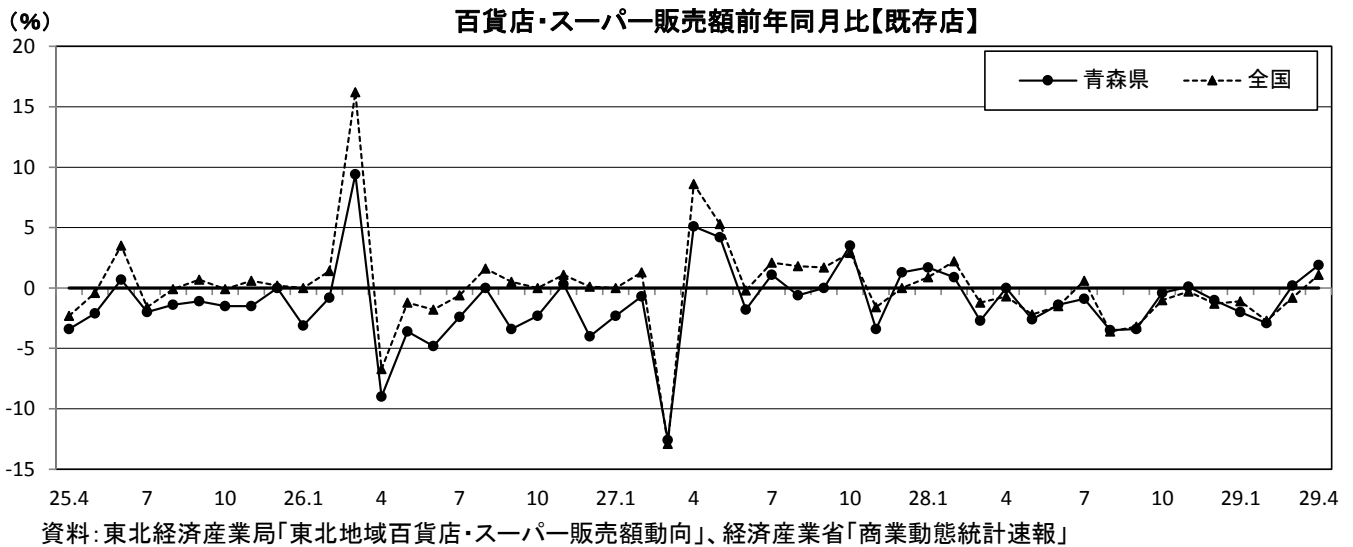
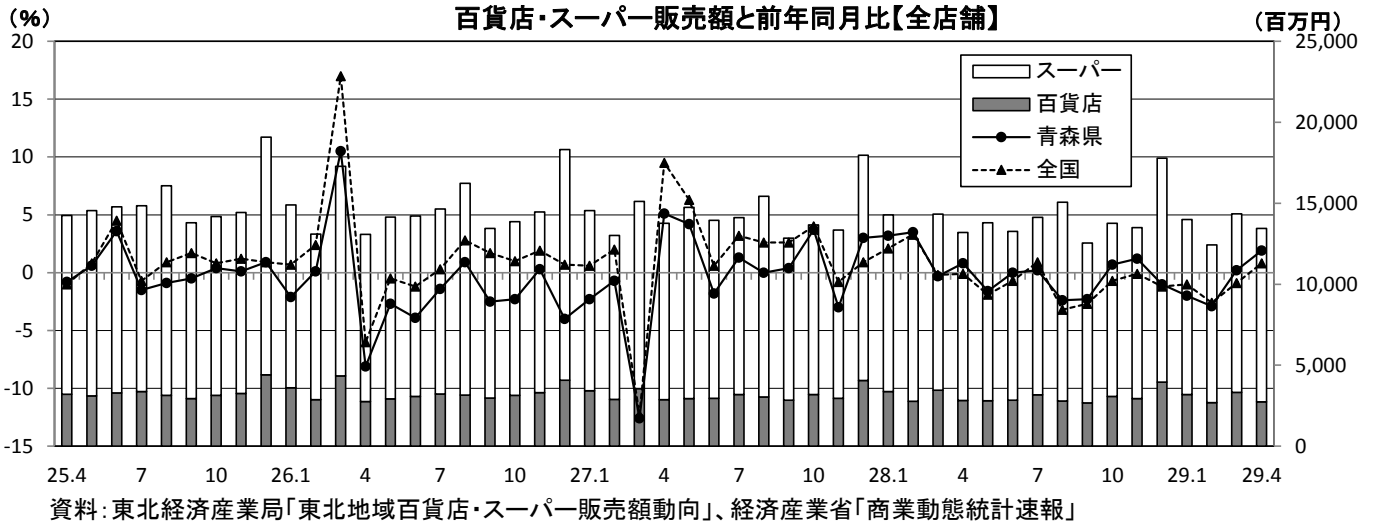
前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

(2-4) 個人消費

(2-4-1) 百貨店・スーパー販売額

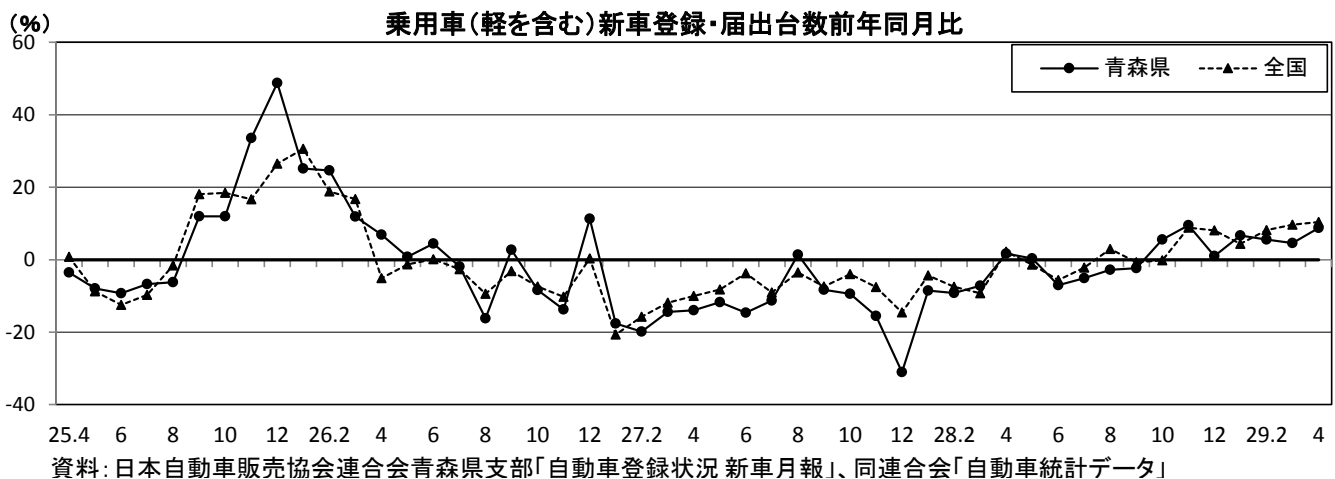
平成29年4月の百貨店・スーパー販売額は、全店舗ベースが134億円で前年同月比1.9%増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。また、既存店ベースでは前年同月比1.9%増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。



* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。
そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

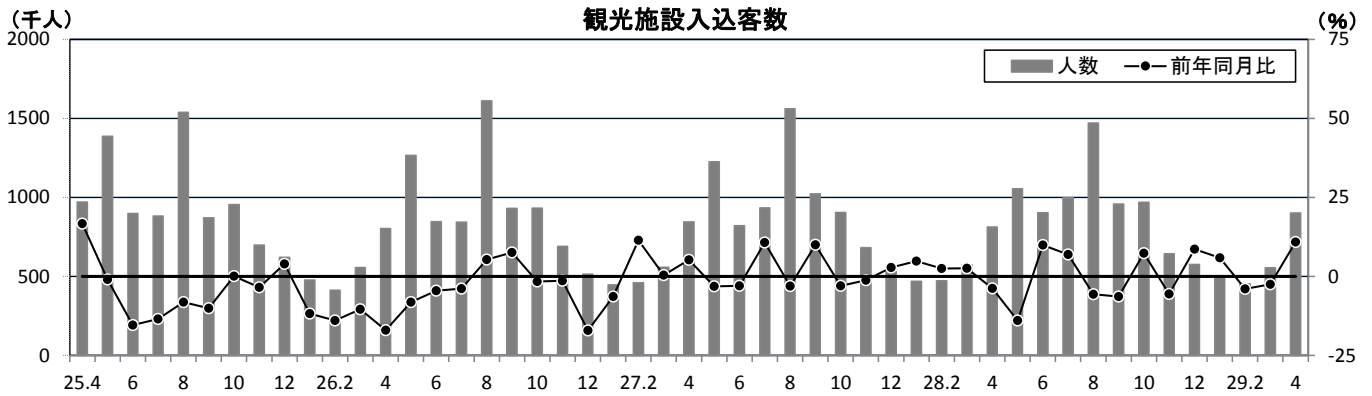
(2-4-2) 乗用車新車登録・届出台数

平成29年4月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,958台で、前年同月比8.8%増となり、7カ月連続で前年同月を上回った。小型車、軽自動車が増加したことによる。

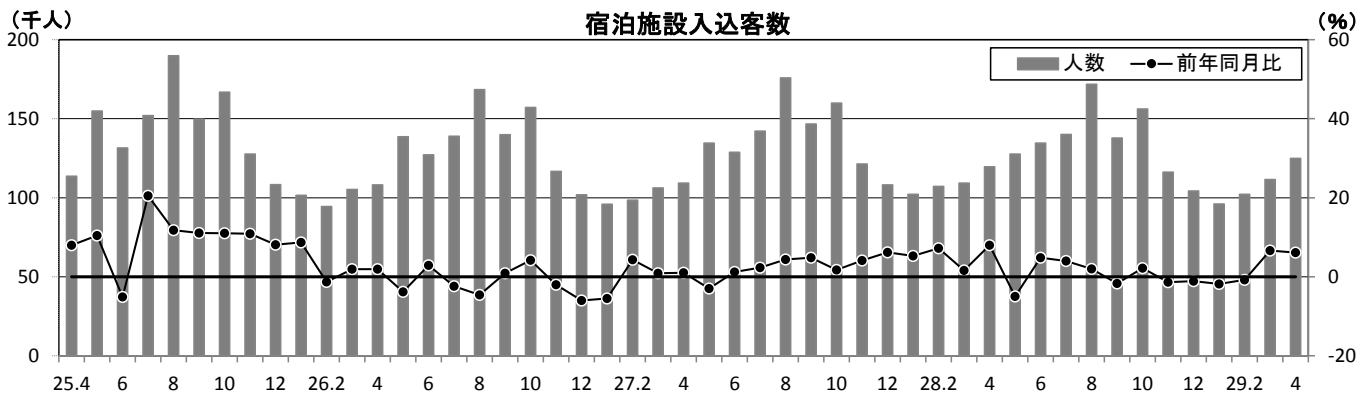


(2-4-3) 観光入込客数

平成29年4月の観光入込客数は、主な観光施設が901千人で前年同月比10.9%増となり、3カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は125千人で前年同月比6.1%増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。観光施設は青森市、弘前市、十和田市等の施設で増加し、宿泊施設は青森市、八戸市、むつ市等の施設で増加したことによる。



資料：県観光企画課「月例観光統計」※観光施設34施設（H24年1月～H26年3月は35施設、H26年4月以降は34施設対比）

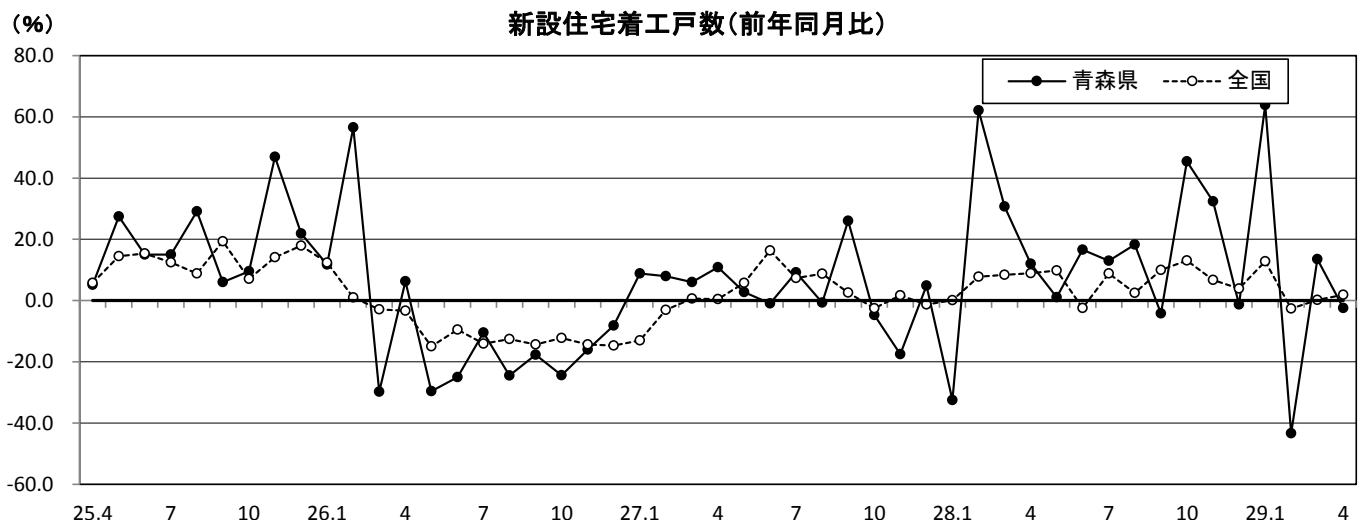


資料：県観光企画課「月例観光統計」※宿泊施設54施設（H24年1～3月は57施設、H24年4～9月は60施設、H24年10～11月は61施設、H24年12月～H26年3月は57施設、H26年4～12月は56施設、H27年1～12月は55施設、H28年1月以降は54施設、H28年7月以降は53施設対比）

(2-5) 建設

(2-5-1) 住宅建設

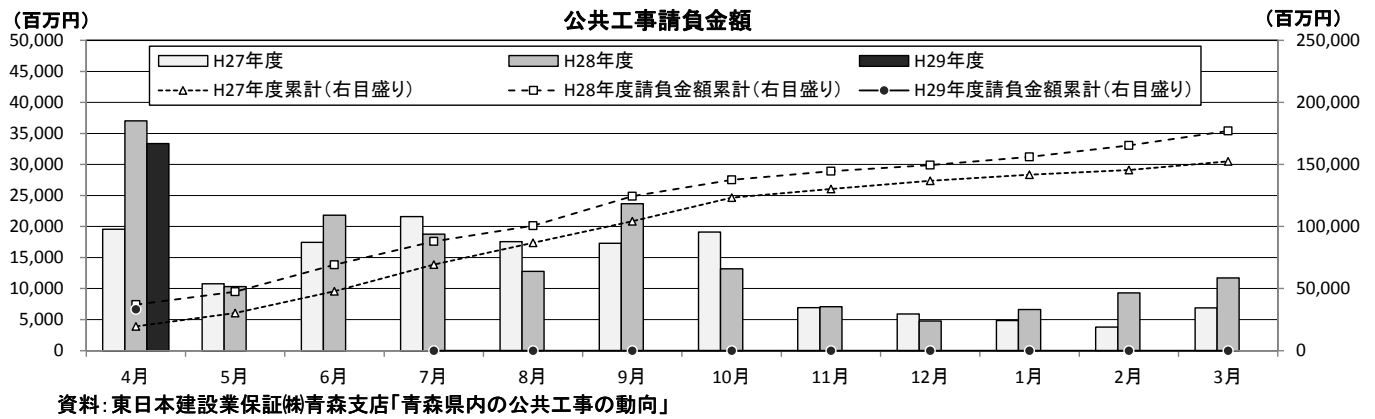
平成29年4月の新設住宅着工戸数は636戸で前年同月比2.5%減となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。貸家が減少したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

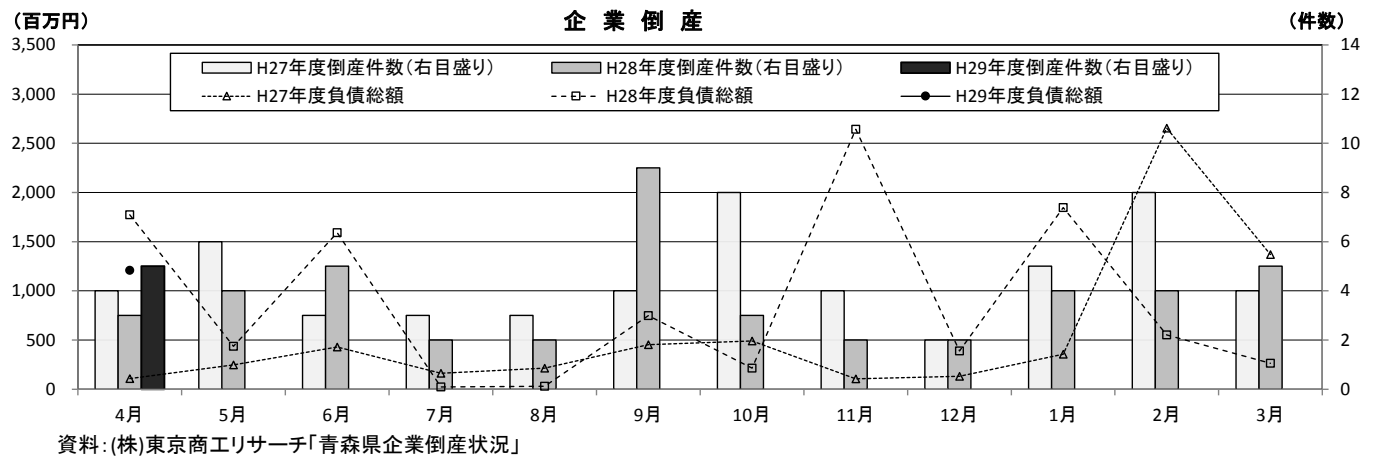
(2-5-2) 公共事業

平成29年4月の公共工事請負金額は333億7,000万円で前年同月比9.9%減となり、国、市町村等の減少により4カ月連続で前年同月を下回った。



(2-6) 企業倒産

平成29年4月の企業倒産は、件数は5件で前年同月比66.7%増となった。負債総額は12億900万円で前年同月比31.8%減となった。負債総額の前年同月比は、10億円を超える大型倒産がなく減少したが、件数は中規模倒産が多く発生したことから増加した。



(3) 青森県景気動向指数

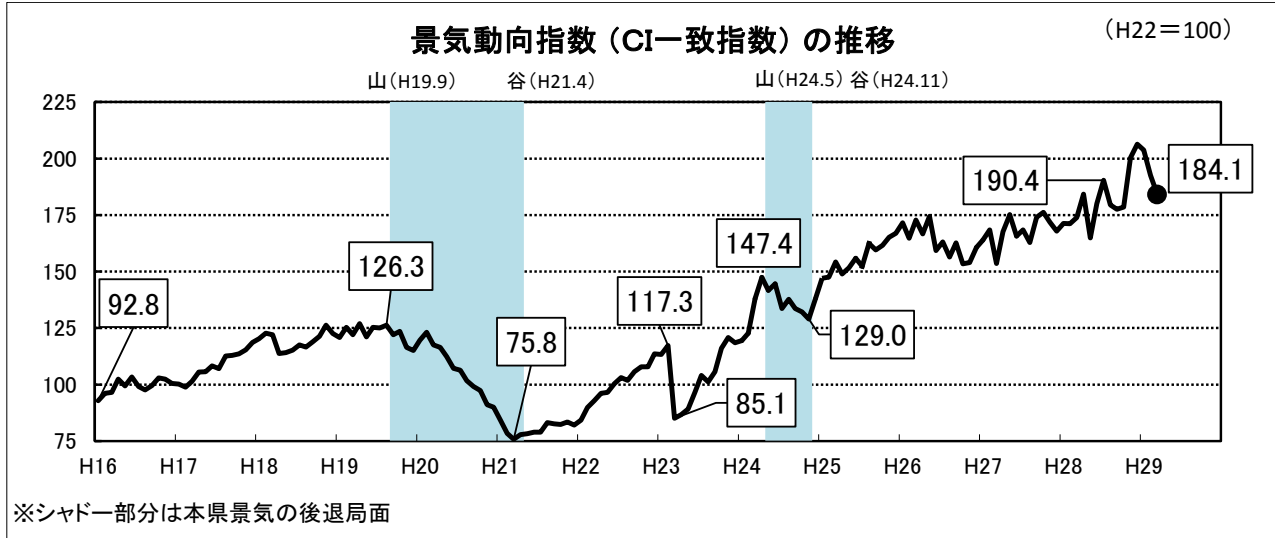
平成29年3月の青森県景気動向指数（C I）は、先行指数 145.2、一致指数 184.1、遅行指数 120.2 となった。

先行指数は、前月を 7.0 ポイント上回り、2カ月ぶりに上昇した。

一致指数は、前月を 8.5 ポイント下回り、3カ月連続で下降した。

遅行指数は、前月を 7.1 ポイント下回り、3カ月ぶりに下降した。

3月の一致指数は雇用・生産関連の指標がマイナスになったことから下降した。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています）

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
先行系列					
新設住宅着工床面積	5.39	2カ月ぶり	建築着工床面積	-6.78	6カ月ぶり
新規求人倍率（全数）	5.08	2カ月ぶり	企業倒産件数	-0.64	2カ月ぶり
中小企業景況D I	4.00	2カ月連続	日経商品指数（42種）	-0.21	9カ月ぶり
生産財生産指数	0.02	2カ月ぶり	乗用車新車登録届出台数	-0.01	2カ月連続
一致系列					
輸入通関実績（八戸港）	4.33	2カ月連続	有効求人倍率（全数）	-7.68	2カ月連続
百貨店・スーパー販売額（既存店）	2.01	4カ月ぶり	鉱工業生産指数	-4.43	4カ月連続
所定外労働時間指数（全産業）	0.26	2カ月連続	投資財生産指数	-2.99	2カ月連続
			旅行取扱高	-0.04	2カ月ぶり
遅行系列					
県内金融機関貸出残高	1.66	2カ月連続	公共工事請負金額	-2.89	3カ月ぶり
			りんご消費地市場価格	-2.83	3カ月連続
			有効求職者数（全数）	-1.93	2カ月ぶり
			家計消費支出（勤労者世帯：実質）	-0.76	3カ月ぶり
			常用雇用指数（全産業）	-0.44	2カ月連続
			青森市消費者物価指数（総合）	-0.04	2カ月連続

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」

(参考) 青森県景気動向指数（D I）		
先行指数	62.5%	（6カ月連続で50%を上回った）
一致指数	71.4%	（3カ月連続で50%を上回った）
遅行指数	71.4%	（5カ月連続で50%を上回った）